

指定3法人として(財)自動車リサイクル促進センターが指定されている

有限責任中間法人 自動車再資源化協力機構設立（2004年1月1日）

国内自動車メーカー12社並びに日本自動車輸入組合は「有限責任中間法人自動車再資源化協力機構（略称：自再協）」を設立した。

当法人は、来年1月に本格施行される自動車リサイクル法(*1)が自動車メーカー・輸入業者に引取り・再資源化を義務付けるフロン類・エアバッグ類・ASR(*2)の指定3品目のうち、フロン類・エアバッグ類について、自動車メーカー・輸入業者からの委託を受け、引取り・再資源化（フロン類については破壊）を適正・確実かつ効率的に果たすことができるよう設置されたもの。

*1 使用済自動車の再資源化等に関する法律

*2 Automobile Shredder Residue：自動車シュレッダーダスト

具体的な業務としては、自動車メーカー等からの委託を受け、
回収されたフロン類・エアバッグ類の引取り・再資源化（破壊）のための
物流・リサイクル（破壊）体制の構築
フロン類回収業者・自動車解体業者への回収料金の支払い
フロン類破壊業者・エアバッグ類再資源化業者への処理料金の支払と業務
監査
などを行う。

これにより、各自動車メーカー等が独自で取組む場合には難しかった、
物流・情報システム面でのスケールメリットの確保と自動車所有者の負担
となるリサイクル料金の低減
フロン類回収業者、フロン類破壊業者、自動車解体業者、エアバッグ類再
資源化業者との一元的な窓口機能を構築することによる実務の円滑化
を実現することができる。

今後、約1年後に迫った自動車リサイクル法の本格施行に向け、万全の準備
を行っていく。

以上

* 本件に関するお問合せ先

管理部 大野（03 - 5405 - 6150）

< 別紙 >

ロゴマーク



有限責任中間法人 自動車再資源化協力機構の概要

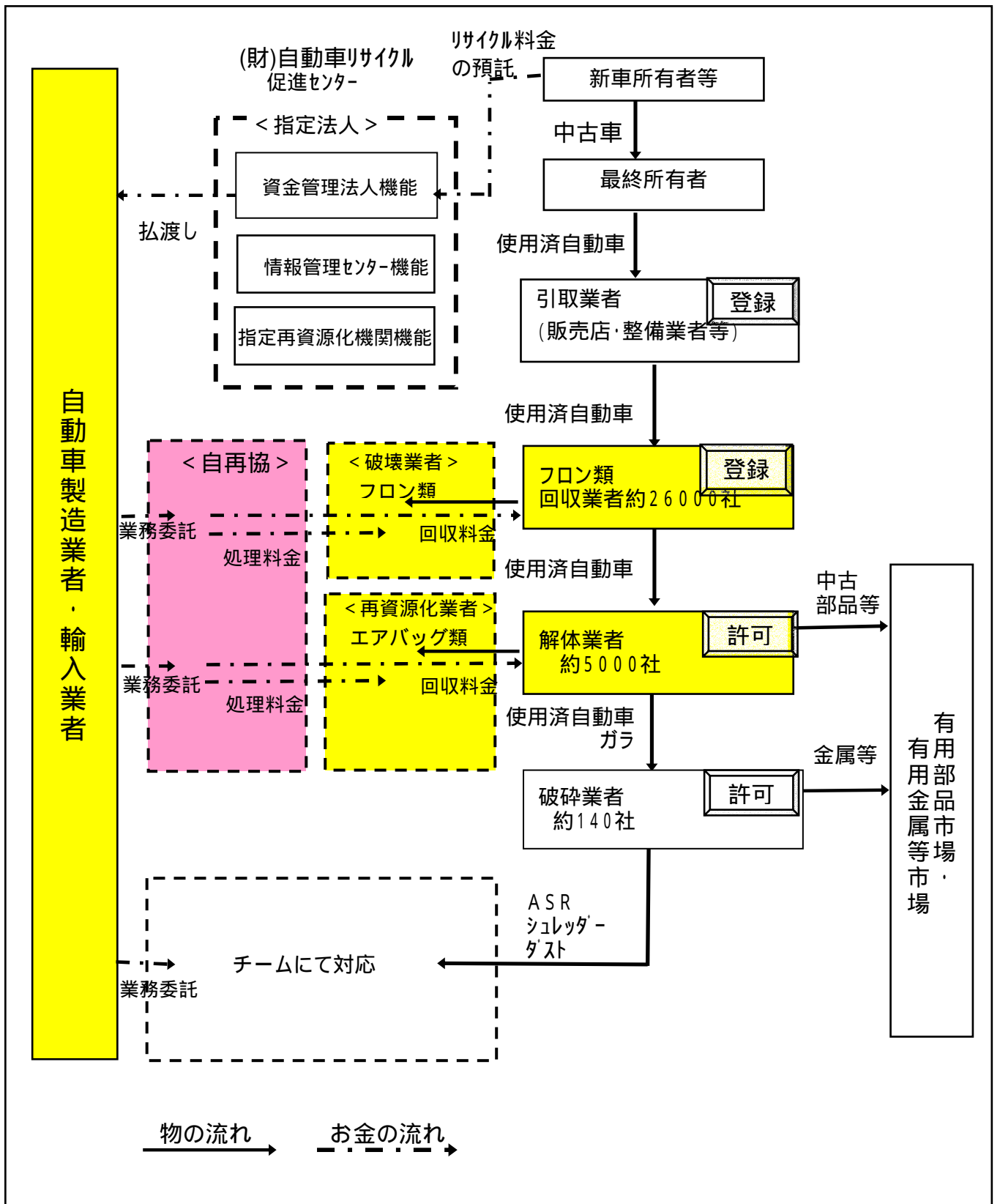
1. 法人名	: 有限責任中間法人 自動車再資源化協力機構 <略称: 自再協> (英文名) (Japan Auto Recycling Partnership)
2. 設立	: 2004年1月1日
3. 本社	: 東京都港区芝大門1丁目1番30号 日本自動車会館16F
4. 基金	: 3250万円
5. 社員	: 国内自動車メカ- 12社及び日本自動車輸入組合
6. 人員	: 約40名
7. 代表者	: 代表理事 益田 清

有限責任中間法人 自動車再資源化協力機構の機能と業務範囲

機 能		業務分担
物流管理	リサイクル・破壊施設の選定・交渉・委託契約の代行	
	指定引取場所の選定・交渉・委託契約の代行	
	リサイクル対象物品の運搬の管理	
	リサイクル施設、関係事業者の管理・監査	
管事務	リサイクル施設・関係事業者への支払代行	
リサイクル料金の設定・公表		
払渡し預託金受領・委託料金支払い		
リサイクルの収支管理・報告		

: 自再協 : 各自動車メーカー等

自動車リサイクル法の概要と対応組織



2004年1月9日
本田技研工業株式会社
ダイハツ工業株式会社
日野自動車株式会社
トヨタ自動車株式会社

本田とトヨタグループはA S R適正処理・再資源化事業を共同で実施

本田技研工業(株)<本社：東京都港区 社長：福井威夫>(以下ホンダ)、ダイハツ工業(株)<本社：大阪府池田市 社長：山田隆哉>(以下ダイハツ)、日野自動車(株)<本社：東京都日野市 社長：蛇川忠暉>(以下日野)、トヨタ自動車(株)<本社：愛知県豊田市 社長：張富士夫>(以下トヨタ)の4社は、2005年1月から施行される自動車リサイクル法で、自動車メーカー・輸入業者に義務付けられている自動車のシュレッダーダスト(A S R^{*})の適正処理・再資源化を共同して行う事とし、その実務については豊田通商(株)<本社：愛知県名古屋市 社長：古川晶章>の子会社である豊通リサイクル(株)<本社：神奈川県綾瀬市 社長：近藤 功>に委託する。

*Automobile Shredder Residue

豊通リサイクル(株)は当該業務を行うため、2004年1月1日付で「A S R再資源化事業部」を設置。上記4社からの出向者を中心に、全国のA S R引取り体制を構築すると共にA S Rリサイクル技術の更なる高度化を目指し、より確実に低コストとなる仕組みづくりに取り組んでいく。

また上記4社に加えて、アウディジャパン(株)<本社：東京都世田谷区 社長：ヨハン ダ ネイスン>(以下アウディ)、ビー・エム・ダブリュー(株)<本社：千葉県千葉市 社長：ヘスス・コルドバ>(以下BMW)、プジョー・ジャポン(株)<本社：東京都渋谷区 社長：リチャード・ジー マレー>(以下プジョー)、フォルクスワーゲングループジャパン(株)<本社：愛知県豊橋市 社長：梅野 勉>(以下VW)の4社もグループに加わり実務としては同様に、上記豊通リサイクル(株)に委託することを決定している。

現在、A S Rについては十分なリサイクル技術が確立されていないため、今後段階的に引き上げられるA S Rリサイクル率目標の達成に向け取り組むとともに、低コストで効率的なリサイクルシステムの構築が重要である。そのため、共同で実施することによって競争力を高め、コストミニマム化の推進を図ることにしている。

なお、事業部の内容は、以下のとおり。

豊通りサイクル（株）の概要（A S R再資源化事業部を除く）

会 社 名	豊通りサイクル（株）
所 在 地	神奈川県綾瀬市大上 1 - 55
事 業 内 容	非鉄金属の回収ならびに販売 自動車中古部品の販売
資 本 金	223 百万円
出 資 比 率	豊田通商（株）98%
代 表 取 締 役	近藤 功
従 業 員 数	33 名

A S R再資源化事業部の概要

組 織 名	豊通りサイクル（株）A S R再資源化事業部
所 在 地	東京都中央区八丁堀 2 - 25 - 9
連 絡 先	TEL 03-3555-2053
業 務 内 容	ホンダ、ダイハツ、日野、トヨタ、アウディ、BMW、プジョー、 VW車のA S R引取り再資源化
事 業 開 始	2004 年 1 月 1 日
従 業 員 数	15 名 ~ 20 名程度

以 上

2004年1月9日

いすゞ自動車株式会社
スズキ株式会社
日産自動車株式会社
日産ディーゼル工業株式会社
富士重工業株式会社
マツダ株式会社
三菱自動車工業株式会社
三菱ふそうトラック・バス株式会社

自動車メーカー8社、シュレッダーダストリサイクル推進のために新たな提携

いすゞ自動車、スズキ、日産自動車、日産ディーゼル工業、富士重工業、マツダ、三菱自動車工業ならびに三菱ふそうトラック・バスの8社は、自動車破碎残さリサイクル促進チーム「ART (Automobile shredder residue Recycling promotion Team、呼称：エイ・アール・ティー)」を結成することに合意した。

「ART」は、2005年1月から本格施行される「使用済自動車の再資源化等に関する法律(自動車リサイクル法)」に従って、自動車メーカーが引取り、リサイクルすることが義務付けられる特定再資源化物品のうち、シュレッダーダスト(自動車破碎残さ)について、そのリサイクルを適正、円滑かつ効率的に実施する仕組みの重要な一部として構築したチームである。

即ち、8社の自動車メーカーがシュレッダーダストを引取ってリサイクル・処理するまでの一連の業務の中で、「ART」は企画業務を担うことになる。具体的には、8社の合議機関として運営委員会を設置し、リサイクルのノウハウを有する複数の商社とも連携しながら、シュレッダーダストの引取基準の設定、指定引取場所の検討、リサイクル方法の検討等を行っていく。

また、物流管理、再資源化業者/最終処分業者の管理や再資源化・処理料金の支払いなどの実施業務については、当該業務に関するノウハウのある商社等へ委託することによって、業務の効率化を図る。

今回の提携は、各自動車メーカーの判断の下に結ばれたものであり、昨年6月以来7ヶ月間に及ぶ周到な検討を通して決定したものである。この新しいパートナーシップは、8社の強みを最大限に引き出し、非常に競争力のあるものとなる。「ART」は、法要件を遵守しながら、業務の効率化等による費用の軽減に向けて、透明性を確保した活動を行っていく。チームメンバーの構成についてはフレキシビリティを持たせ、その時々状況等に応じ、自由に参入・退出できることにしている。また、チームリーダーは、「ART」参加メンバーで協議の結果、日産自動車が担当することとした。

この新しい提携に伴い8社がまとまることにより、各社がこれまで培ってきたリサイクルの知恵を集結し、そこに商社のノウハウを取り入れることが可能となる。また、各社のシュレッダーダストをまとめることによりスケールメリットが期待できる。従って本提携は、それぞれの自動車メーカーが単独でシュレッダーダストの引取り及びリサイクルを実施する場合よりも、大きな効果をもたらすこととなる。

以上

お問い合わせ先：

いすゞ自動車株式会社（本社：東京都品川区南大井 社長：井田 義則）
TEL：03-5471-1138(広報部)

スズキ株式会社（本社：静岡県浜松市高塚町 社長：津田 紘）
TEL：03-5473-1601（東京支店 広報グループ）、053-440-2030（本社 広報グループ）

日産自動車株式会社（本社：東京都中央区銀座 社長：カルロス ゴーン）
Tel：03-5565-2141（グローバル広報・IR部）

日産ディーゼル工業株式会社（本社：埼玉県上尾市 社長：仲村 巖）
TEL：048-726-7601(広報室)

富士重工業株式会社（本社：東京都新宿区西新宿 社長：竹中 恭二）
TEL：03-3347-2029（広報部）

マツダ株式会社（本社：広島県安芸郡府中町新地 社長：井巻 久一）
TEL：03-3508-5056（国内広報部）

三菱自動車工業株式会社（本社：東京都港区港南 社長：ロルフ・エクロート）
TEL：03-6719-4274（広報部）

三菱ふそうトラック・バス株式会社（本社：東京都港区港南 社長：ヴィルフリート・ポート）
TEL：03-6719-4821(コミュニケーションチーム)

自動車破砕残さリサイクル促進チーム

「ART (Automobile shredder residue Recycling promotion Team)」

TEL：03-3288-3020

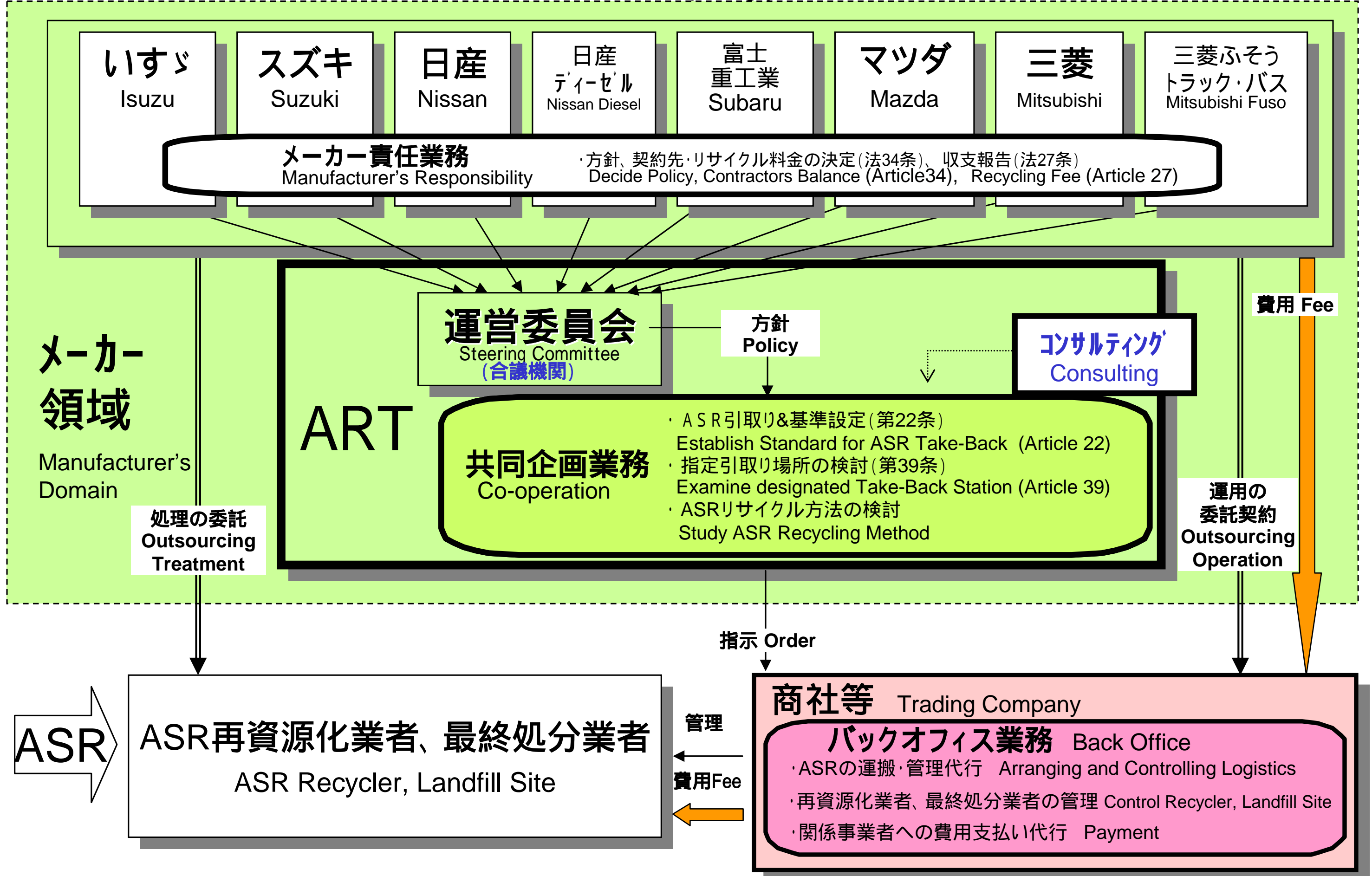
ART組織体制イメージ

ART Organization

ART: (Automobile shredder residue Recycling promotion Team, 呼称: エイ・アール・ティー)

⇒ 契約 Contract
→ 指揮命令 Order
費用 Fee

添付資料 Attachment





mazda



MITSUBISHI MOTORS



FUSO

Automobile
shredder
residue
Recycling
promotion
Team

ISUZU



自動車破砕残さリサイクル促進チーム